

近年のパーキンソン病あるいはパーキンソン症候群の診療で目につく症状は、極端なすくみ足（freezing of gait, 以下 FOG）である。L-ドパが治療に導入され普及する以前にはほとんど記載されることがなかったため、FOG と L-ドパによる長期服用との関連も議論されている。一方、進行性核上性麻痺（PSP）では、本特集で紹介されているように「進行性すくみ足」を主徴とするタイプに接する機会が増しており、L-ドパ未投与例も多い。しかし、FOG は古くから知られており、歩行失行として論じられることもあった。近年のヒトの起立二足歩行の研究では、中枢パターン生成器（central pattern generator : CPG）を想定した知見にも興味深いものがある。

19 世紀後半から、医療では疾患重症度の指標として日常生活における活動に着目するようになった。治療が悲観的にとらえられる時代の長かった脳神経疾患では、パーキンソン病で L-ドパの導入

に伴う臨床治験が企図されたときに、古典的な三徴候を中心に神経学症状を点数化する重症度評価も複数考案されたが、日常生活での活動の制約を組み込んだ Hoehn & Yahr 分類が評価の主軸として採用された。今日の医療では疾患に影響された個人の機能（functioning）の指標として活動が重視されるが、わが国では日常生活の「activities」が「動作」と訳されて普及したことから、活動に焦点を置く治療や介護でも動作訓練として理解されているかのごとくである。英米で個人別に意義のある活動に焦点をあてたトリートメントの思想が普及したのは、1980 年代のことである。とはいえ、遅ればせながらわが国でも必要な支援の提供により、社会活動に参加する取り組みが拡大していることが本特集記事でも明らかであることから、訳語にこだわる必要はないのだろう。（江藤文夫）

編集後記

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 澤 俊二 竹内さをり
長野 敏宏 中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	蟻塚 亮二	石川 隆志	伊藤 利之
伊藤 真美	岩井 和子	岩井 邦寿	宇田 薫
沖田 啓子	片岡 靖子	辛島千恵子	菊山 和生
川本愛一郎	来島 修志	岸本 光夫	窪田 静
相良 二郎	柴田八衣子	島崎 寛将	高島 千敬
鶴見 隆彦	中川 昭夫	仲木 右京	芳賀 信彦
浜村 明德	林 克樹	東 祐二	備酒 伸彦
深浦 順一	二神 雅一	松本 琢磨	松元 義彦
宮田 昌司	村井 千賀	村上 重紀	柳 尚夫
山口 昇	山根 寛	吉川ひろみ	米崎 二郎
渡辺 誠			

（五十音順）

作業療法ジャーナル VOL.53 NO.9 (Aug.)

2019 年 8 月 15 日発行（毎月 1 回 15 日発行）

定価（本体 1,800 円＋税）

年ごめ予約購読料 25,400 円＋税（送料弊社負担、増刊号含む）

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

（担当：高野、森山）

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎ 03-3814-1971

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2019, Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。